


教育事業「青少年教育指導者等の養成及び資質の向上」

事業名	文部科学省委託事業 教員免許状更新講習 part.1	
実施期間	平成23年8月18日（木）～19日（金）	
担当者	企画指導専門職 長谷川 真由	

I 事業の趣旨

今、学校教育における体験活動は、豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力などの生きる力の基盤、子どもの成長の糧としての役割が期待されている。体験活動とは、自分の身体を通して実際に経験する活動のことであり、子どもたちがいわば身体全体で対象に働きかけ、かかわっていく活動のことである。今後の教育において重視されなければならないのは、ヒト・モノや実社会に実際に触れ、かかわり合う「直接体験」である。

本講習では、自然体験・集団宿泊活動の意義を理解し、その指導法や健康・安全管理等について、主に実習を通してその方法や知識を深め、教員としての資質向上を図る。

II 事業の概要

1 事業の目的

自然体験活動の意義や素晴らしさを理解し、体験活動に伴うリスクへの安全管理の意識を高めるとともに、学校における体験活動の指導法の工夫改善に資するなど、教員の資質向上を図る。

2 参加対象及び募集人員

- ・教諭の普通免許状もしくは特別免許状を持っている者
- ・現職の小学校教諭（中学校及び高等学校教諭も可）

3 参加状況

男性25名、女性13名 合計38名

4 実施上の留意事項

- (1) 参加者が講習へ参加しやすいように、選択科目18単位のうち12単位を1泊2日の講習とした。
- (2) 体験を多く取り入れ、魅力ある講習内容とした。

5 活動のようす

1日目（8月18日）

《講義・実習1》野外炊飯の指導法

講師：国立青少年教育振興機構

指導主幹 北見 靖直 氏



《みなさん、真剣な表情です》



《薪割り時の安全指導とは》



《薪割りに挑戦》



《協力してパエリア作り》



《いただきます》

《講義・実習2》学級づくりに役立つ体験学習の指導法
講師：国立青少年教育振興機構
指導主幹 北見 靖直 氏



《講義・実習3》星座観察の技術と指導法
講師：元中学校校長 吉川 嘉勝 氏



《夜空を見上げる前に講義です》

2日目（8月19日）

朝のつどい



《参加者代表による団体紹介》



《整 列》



《レクリエーション》

《講義・実習3》カヤックの指導法



《海洋研修オリエンテーション》



《慎重に乗り込みます》



《一人乗りシーカヤック出艇だ！》



《底が透明なのでお魚観察してくださいね》



《2人乗りオープンカヤックで海のお散歩です》



《21人乗り大型カヌー息を合わせて漕ぎましょう》



《座席はまたいでください》



《体験スノーケリングにも挑戦しました》

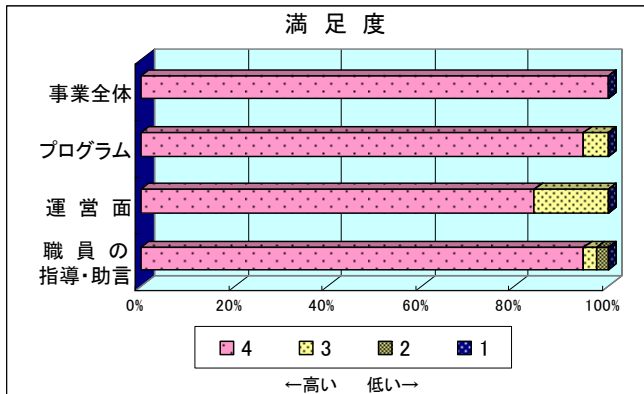
《履修認定試験》



《ペンの動く音だけが響きました》

6 アンケート結果

(1) 満足度



(2) 参加者の声

〈良かった点〉

- 素晴らしい環境のなかで充実した体験活動に関する指導法を学べてよかったです。山の活動もあれば、より充実するのではと思います。
- 実際に自ら体験することで、分かったことや気づけることなど、これから生徒を指導していく上で、体験活動の大切さを伝え、生徒たちの将来が有意義なものになるよう、取り組んでいきたいと思いました。
- とても素晴らしい事業でした。「体験活動が大切だよ」とよく言われているが、教師自身が子どもの立場になり、仲間とさまざまな体験をしていくことに、より体験活動の良さが味わえた。そして、その体験で得た感動を目の前の子ども達にも味わってほしい。「感動体験が人を変える」。まさに、私自身が変わりました。
- 野外炊飯の指導法では、私もこれまで何度も経験がありわかっているつもりでしたが、その道のエキスパートにかかれば、指示も注意もこんなにもわかりやすいものか驚きでした。
- 体験活動というのは「人づくり」に大きな影響を与えているのだと改めて、その大切さや意義を感じました。本やインターネットの知識だけでなく、実際に五感を使って体験することで自分の中に残り、伝えていけるんだと思います。失敗も重要な経験であるということが印象的でした。1泊2日、ありがとうございました。
- 座学も良いけれど、やっぱり自分で体験し得たものは本物で、それは生徒にも伝わっていくのだと強く感じました。沖縄に来て本当に良かったと思いました。自分のテリトリーでいかに小さく仕事をしてきたか、そして全国にこんなに素敵な先生方がたくさんいるんだということを知り、とても励みになりました。教員という仕事に対し、嫌気がさしていたり、少し苦しくなっていました。この出会いにより、教員ってとっても素敵な職業だと思いました。何より埼玉からきた私たちをみなさんが本当に歓迎してくれて、それがとてもうれしかったです。みなさんが全員「沖縄が好き」と言っていました。私も埼玉が好きと言える教員になりたいと思いました。

ぜひ、来年はもっと他県の人が増え、沖縄で新たな出会いがあることを願っています。本当に参加して良かったです。ありがとうございました。

〈改善すべき点〉

- ▲事前の情報量（服装など）が少なかったため、先が見えない中での活動が不安でした。
- ▲テスト問題において、専門用具の記入、選択がある場合は、その講義で確認、または知ることがあったほうが良い。出題されることは良いと思う。
- ▲夕食、お風呂の時間が少し窮屈かなあと感じました。
- ▲北見先生の授業は、教員として非常に勉強になりました。興味のひきつけ方がすばらしかったため、自身にも今後役立てたいと思います。もっと課題がはっきりしていると、わかりやすい講義だったと思います。

III 成果と課題

1 事業の成果

- 天候に恵まれ渡嘉敷島の自然を存分に活かした体験活動を実施した。教諭自らが体験することで、その重要性を実感し、指導における基本的なスキル（知識、技術）を向上させることができた。
- 参加者募集開始時期を4月にすることで研修参加者が増え、普段交流の少ない小学校・中学校・高等学校の教諭の情報交換の場となった。また、県外からの参加者もあり交流の幅も広がった。
- 機構本部から講師を招聘した所、熱のこもった講義・実習が展開され、参加者は大いに刺激を受けた。

2 今後の課題

定員オーバーして38名の受講生を受け入れた所、希望してもシーカヤックに乗艇できない参加者がいた。講習内容に合わせた定員の設定等検討が必要である。

事前の情報（日程・持ち物等）が少ないという声があったので受講者の視点に立った広報を行う必要がある。

IV おわりに

今回は教員免許状更新のための講習であったが、教諭自らが体験活動の素晴らしさを堪能できる事業となり、その重要性についても理解が深まった。めまぐるしい日常から離れて渡嘉敷島の自然の中でリフレッシュする参加者の生き生きとした表情が非常に印象に残った。

本講習の参加者が各学校へ戻り、渡嘉敷島での体験活動の素晴らしさを語り、生徒を連れて戻ってくることを期待する。